



大日本印刷株式会社様

[印刷関連、情報通信等]

モバイルワークを活性化し、業務効率をアップ。 子育てとの両立など、多様な働き方をサポート。

幅広い事業分野で多様な製品やサービスを提供する世界最大規模の総合印刷会社である大日本印刷株式会社様(以降、DNP様)。1876年の創業以来、強みとしてきた印刷技術や情報技術を活かし、出版印刷や商業印刷から、包装や建材、ディスプレイ関連製品や電子デバイスなどへと事業領域を拡げてこられました。その中心を担う情報イノベーション事業部では、従来から業務効率化の推進と顧客へのレスポンス向上のため、社外でもセキュアな環境を保つシンクライアント*専用のノートPCを使用されていました。今回、さらなる業務効率化に向け、レッツノート10.1型 CF-RZ6を採用いただきました。

*PC内のアプリケーションやデータの保存、処理などを全てクラウドサーバー上で行い、端末には一切のデータを残さない運用方式。



情報システム本部
システム推進部 部長
鬼塚栄治 様



情報イノベーション事業部
情報化推進部 部長
山頭理 様



情報イノベーション事業部
東京第3営業本部 営業第2部 第2課
吉岡あずさ 様



(写真上)社内ミーティングには、CF-RZ6のみを持って集合。資料のペーパーレス化が進み、プリントアウトの手間とコストを削減。議事録の作成もその場で完了できるようになり、業務が効率的に。

(写真左)軽量でコンパクトなCF-RZ6は、女性用の肩がけバッグにもすっぽり。持ち歩き負担が大幅に減少。

導入の背景

業務効率と顧客満足のためのさらなる向上を目指し、シンクライアント端末のユーザビリティを再検証。従来の専用端末から、一人ひとりの働き方に沿う汎用端末へ。

今回CF-RZ6を採用された情報イノベーション事業部は、マーケティングコミュニケーション事業、セキュアコミュニケーション事業、ビジネスプロセスアウトソーシング事業を核に幅広い事業を展開されています。多様化するメディア環境の中で、スピーディな対応が求められる事業の性質から、2011年以降は外出の多い営業担当者を中心にノートPCを支給。社内ではデスクトップPCを利用し、社外ではシンクライアント専用のノートPCを使う体制を取られていました。導入当時は好評だったシンクライアント端末ですが、導入から4年を経て運用の見直しが必要になっていました。鬼塚様によれば、今後ノートPCの使用目的が社外でのコラボレーション用途に拡大し、社員の働き方の改善やクライアントへのレスポンスの向上などが求められることを考えると、機動性の向上が緊急の課題に。解決のため、シンクライアント専用端末ではなく、シンクライアントサービスも利用可能で、いろいろなユーザーニーズに柔軟に対応可能な汎用端末の採用を検討されました。

DNP様では約半年間をかけ端末を検討。さまざまな機種を取り寄せて使用感をチェックし、各事業部の担当者を集めて品評会も実施。検討時は、軽さと丈夫さは必須条件とした上で、使用感や拡張性の高さなどにもこだわったと鬼塚様。「CF-RZ6は小型にもかかわらずキーボードのストロークが十分確保され、打った時の安定感があり、長時間使用にも優れていると思いました。軽さや丈夫さと合わせて、持ち運びにここまで特化した端末は他には無いと感じましたね。最低5年間の継続利用を考えていたので、保証期間を5年に延長できることも魅力でした。また将来的にタブレット端末を使用するニーズが発生することも見据え、画面を折り返してタッチパネル操作ができる仕様に着目して選びました」。端末を実際に使用する情報イノベーション事業部の山頭様は、映像の出力端子がVGAとHDMIの両方を備えていることも魅力と語ります。「情報伝達の形が急速に変化している中、クライアント側の設備もどんどん変化しています。とはいえ全てが一気に新しくなるわけではありません。そうした過渡期に対応する端末として非常に適していると思います」。

導入のポイント

ポイント1

モバイルワークに適した
軽量かつ長時間駆動

ポイント2

HDMIだけでなく直接VGA接続も
できる、豊富な入出力端子

ポイント3

長期利用を支える
5年間の延長保証



導入のメリット

社内・社外でのモバイルワークを活性化。“スキマ時間”活用を促進し、働き方を多様に。

DNP様ではさらにサイズを検討し、持ち運び時の負担を軽くしながらも業務に支障のない、10.1型のCF-RZ6を選択。2017年度から、情報イノベーション事業部を皮切りに本格的に導入を開始されました。導入から間もなく、使用者からは持ち運びの負担が減ったなど好評を得たと山頭様。さらにCF-RZ6の「軽さ」が要因となり、社外はもちろん社内でもCF-RZ6を持ち歩いて使用するモバイルワークが普及し、社内コミュニケーションが活性化されたそうです。



徒歩5分程度の所にある別の部署との打ち合わせの際もCF-RZ6だけを持って移動。ペーパーレスで身軽に。

具体的な導入後の使用法についてお伺いすると、会議には紙の資料を持たず、各自がCF-RZ6だけを持って集合。会議室内ではモニターとCF-RZ6を映像端子でつないで資料を表示でき、紙の資料と比べて会議の進行がとてスムーズです。

CF-RZ6の活用度は、当初の予想以上と山頭様は語ります。

「ペーパーレス化も促進されており、もはやノートPCが手書きのノートと同じくらの存在になってきている、と感じています。DNPの市谷加賀町ビルでは、他企業の方とコラボレーショ

ンできる共創スペースをはじめ、オープンスペースが増えていますが、そうしたスペースでのフレキシブルなコミュニケーションの活性化にも、端末が“軽い”という物理的なインパクトが影響していると思います」。

DNP様ではモバイルワークの促進で、より個人のスタイルに合わせた働き方の実現も目指されています。そのような中、女性社員の活躍を支える端末としても、CF-RZ6に期待を寄せられています。子育てをしながら営業職を担当する吉岡様に導入後のメリットをお聞きすると、「持ち歩きの負担の軽減」「打ち合わせの質の向上」「スキマ時間の活用」などのメリットを実感されているとか。それぞれ詳しくお聞きしました。

まず、持ち歩きの負担の軽減について。従来のPCは1つのバッグに入りきらなかったのに対し、CF-RZ6は他の荷物と合わせて女性向けバッグ1つにすっぽり。業務中はもちろん、退社後のお子様のお迎えや買い物でも、持ち運びの負担が減ったといえます。

また、クライアントとの打ち合わせでは、より内容が伝わりやすくなったとか。

「CF-RZ6は画面が折り返せるので、相手にサッと画面を見せられます。視認性も良いので、クライアントから『CF-RZ6で見せて』と言われることもあります」。

そして吉岡様が最もメリットを感じているのが、シンクライアント環境を十分に活用し、スキマ時間を以前より活用できること。

「CF-RZ6を使い始めてから、直行直帰できる日が増え、今はほとんど毎日、得意先から直帰できています。CF-RZ6は駆動時間が長いいため、場所を選ばずサッと広げて仕事ができるようになり、日中の移動時間や、次の打ち合わせまでの空き時間などいろいろなスキマ時

間を有効に使えるようになりました。仕事の質を保ちながら量を増やすことができるようになり、家族と過ごす時間も以前より確保できるようになったと思います」。

レッズノートを活用したこれからの展望

空間を超えた自由なコミュニケーションをかなえる、モバイルワーク環境を追求。

「営業担当者など、社外での活動の多い人々については、早いうちにノートPC1台への集約を完了させ、組織全体の自由なコミュニケーションの土台としたいと思います。近年、テレワークや在宅ワークといった個人に合わせた働き方へのシフトが話題となっていますが、私たちはモバイルワーク環境を充実させることでそれらの働き方はもちろん、さまざまな個人のニーズに応えられると考えています。今後もセキュリティに配慮しながら、オンとオフをすばやく切り替えられるようなモバイルワーク環境を突き詰めていきます」と山頭様は語ります。鬼塚様からも、次のようなお話が。

「機能面では、タッチパネル操作できる点を活用して、遠隔コミュニケーションに役立てていきたいとも考えています。例えば、CF-RZ6にタッチペンで記入した内容が遠隔地のスクリーンにリアルタイムで表示されるなど、空間的なギャップを埋めるコミュニケーション施策を実施していきたいですね」。



導入機種：レッズノート 10.1型 CF-RZ6
用途：営業支援

導入メリット1

資料のペーパーレス化が促進され、社内コミュニケーションが活性化

導入メリット2

クライアントとの、打ち合わせの質が向上

導入メリット3

スキマ時間の活用も促進でき、個人の働き方がより多様に

※掲載内容は取材当時（2018年3月）のものです。

お問い合わせは…

【法人向けPCご購入前相談窓口】

ご購入相談、デモ機お貸出し、カタログ請求、法人向け案件別対応など

ダイレクトマーケティングチーム

☎ 0120-878655

受付時間 9:30~17:30(土日、祝日、年末年始、お盆を除く)

パナソニック株式会社 モバイルソリューションズ事業部

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

このチラシに記載の内容は事例取材当時のものです。

JPN18CDNP18D